

平成28年度就職・採用活動に関する調査(大学等)

速報版のポイント

平成28年9月

就職問題懇談会
(事務局:文部科学省)

調査概要

調査目的

就職・採用活動の状況を把握し、今後の就職・採用活動の円滑な実施の検討に資する。

調査主体

就職問題懇談会（事務局：文部科学省）

実施方法

対象：全国の国公私立大学、短期大学 合計1,125校

方法：調査票の送付

期間：平成28年7月19日（火）～8月10日（水）

※8月1日現在の状況を回答。

回答率

発送数：1,125件

有効回答件数：1,005件

回答率：89.4%

【内訳】

国立大学	100.0%	公立短期大学	82.4%
公立大学	90.9%	私立短期大学	83.7%
私立大学	90.8%		

属性

① 学校種別

調査数	国立大学	公立大学	私立大学	公立短期大学	私立短期大学
1,005	86	80	552	14	273
100.0%	8.6%	8.0%	54.9%	1.4%	27.2%

② 地域

調査数	北海道・東北	関東(東京以外)	東京	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1,005	112	157	166	176	190	96	108
100.0%	11.1%	15.6%	16.5%	17.5%	18.9%	9.6%	10.7%

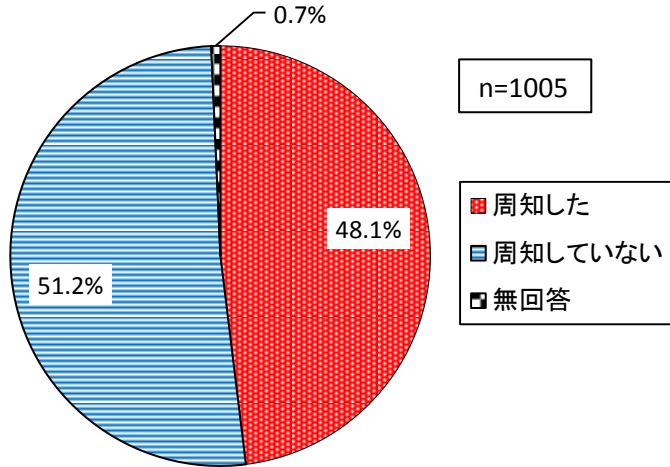
【留意点】 この「速報版のポイント」で「大学」と表記しているところは、特に断りがない限り大学と短期大学の両方を含むものとして使用している。

就職問題懇談会「申合せ」の周知状況等

【企業に対する「申合せ」の周知状況について】

周知した 48.1%
周知していない 51.2%

企業に対して就職問題懇談会の「申合せ」に記載されている就職活動時期の変更の趣旨や学生の学業への配慮を周知しましたか

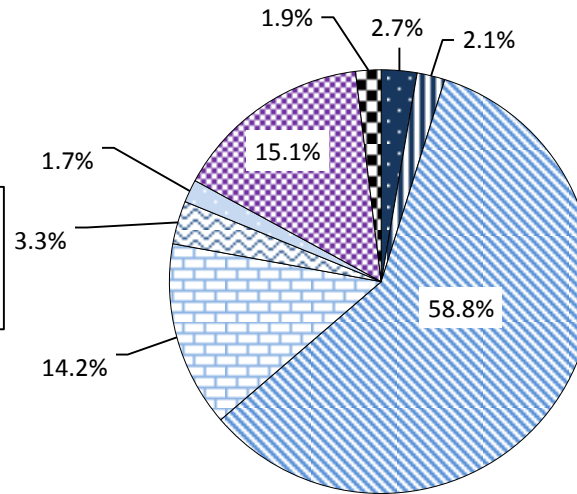


【企業に対する周知をしていない理由】

既に就職問題懇談会や政府から企業へ周知を行っているので、それで足りると考えた 58.8%

学内で企業説明会を実施していない等、企業との接点がないため周知する機会がなかった 14.2%

企業に対して周知しなかった理由は何ですか



- 企業へ周知することを認識していなかった(理解していなかった)
- 業務上余裕がなかった。
- 既に就職問題懇談会や政府から企業へ周知を行っているので、それで足りると考えた
- 学内で企業説明会を実施していない等、企業との接点がないため周知する機会がなかった
- 学生が希望する就職先の多くが公的機関であるので、企業に対して周知する必要がないと考えた
- 企業に周知することを気兼ねした
- その他
- 無回答

※周知していないと回答した515校に質問

広報活動開始時期

文系の学生が就職活動を行った企業の動向

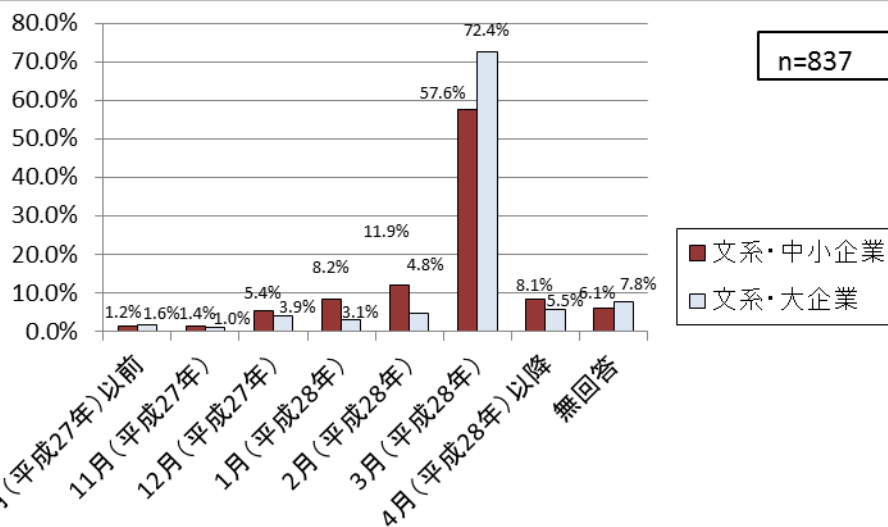
【大企業】

- 「平成28年3月」開始が72.4%と最も多い。
- 77.9%の企業が平成28年3月以降に広報活動を開始した。

【中小企業】

- 「平成28年3月」開始が57.6%と最も多い。
- 65.7%の企業が平成28年3月以降に広報活動を開始した。

多くの企業が広報活動を開始した時期は概ねいつ頃でしたか(文系・大/中小企業)



※文系の学部を設置していると回答した837校について集計。

理系の学生が就職活動を行った企業の動向

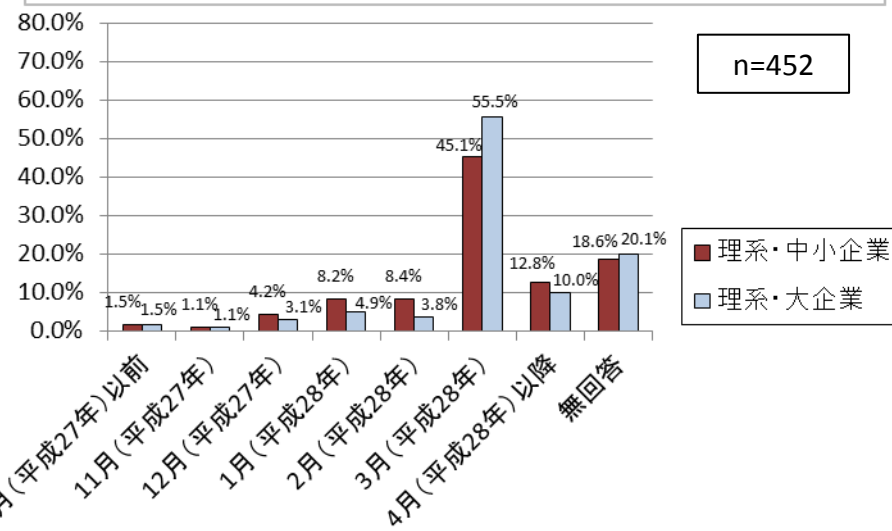
【大企業】

- 「平成28年3月」開始が55.5%と最も多い。
- 65.5%の企業が平成28年3月以降に広報活動を開始した。

【中小企業】

- 「平成28年3月」開始が45.1%と最も多い。
- 57.9%の企業が平成28年3月以降に広報活動を開始した。

多くの企業が広報活動を開始した時期は概ねいつ頃でしたか(理系・大/中小企業)



※理系の学部を設置していると回答した452校について集計。

採用選考活動開始時期

文系の学生が就職活動を行った企業の動向

【大企業】

- ・「平成28年6月」開始が33.7%と最も多く、次いで「平成28年4月」開始が23.3%であった。
- ・56.7%の企業が6月より前に採用選考活動を開始した。

【中小企業】

- ・「平成28年4月」開始が36.2%と最も多く、次いで「平成28年3月」開始が24.1%であった。」
- ・77.5%の企業が6月より前に採用選考活動を開始した。

理系の学生が就職活動を行った企業の動向

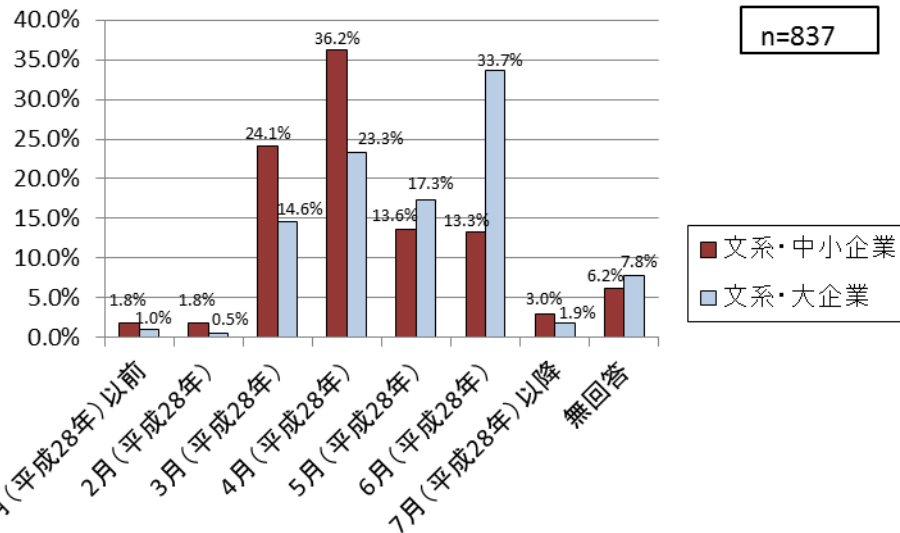
【大企業】

- ・「平成28年6月」開始が24.8%と最も多く、次いで「平成28年4月」開始が23.7%であった。
- ・49.6%の企業が6月より前に採用選考活動を開始した。

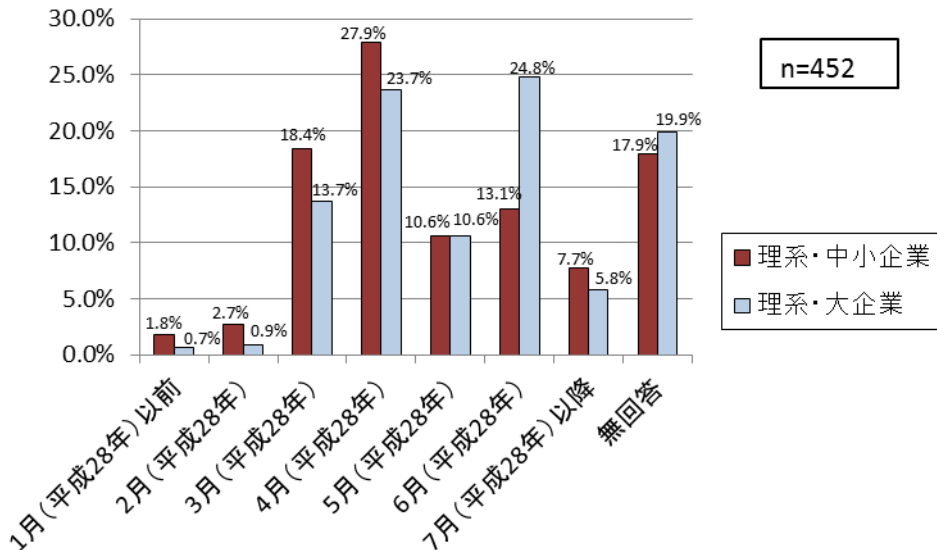
【中小企業】

- ・「平成28年4月」開始が27.9%と最も多く、次いで「平成28年3月」開始が18.4%であった。
- ・61.4%の企業が6月より前に採用選考活動を開始した。

多くの企業が採用選考活動を開始した時期は概ねいつ頃でしたか(文系・大/中小企業)



多くの企業が採用選考活動を開始した時期は概ねいつ頃でしたか(理系・大/中小企業)



※文系の学部を設置していると回答した837校について集計。

※理系の学部を設置していると回答した452校について集計。

学生が内々定を得た時期

文系の学生の就職活動の動向

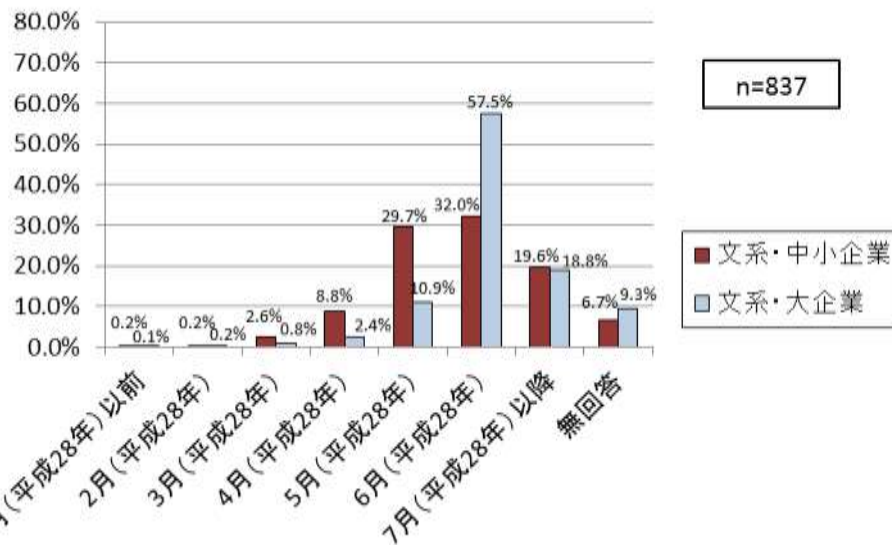
【大企業】

・「平成28年6月」(57.5%)が最も多く、続いて「平成28年7月以降」(18.8%)、「平成28年5月」(10.9%)であった。

【中小企業】

「平成28年6月」(32.0%)が最も多く、続いて「平成28年5月」(29.7%)、「平成28年7月以降」(19.6%)であった。

多くの学生が最初に内々定を得た時期(文系・大/中小企業)



※文系の学部を設置していると回答した837校について集計。

理系の学生の就職活動の動向

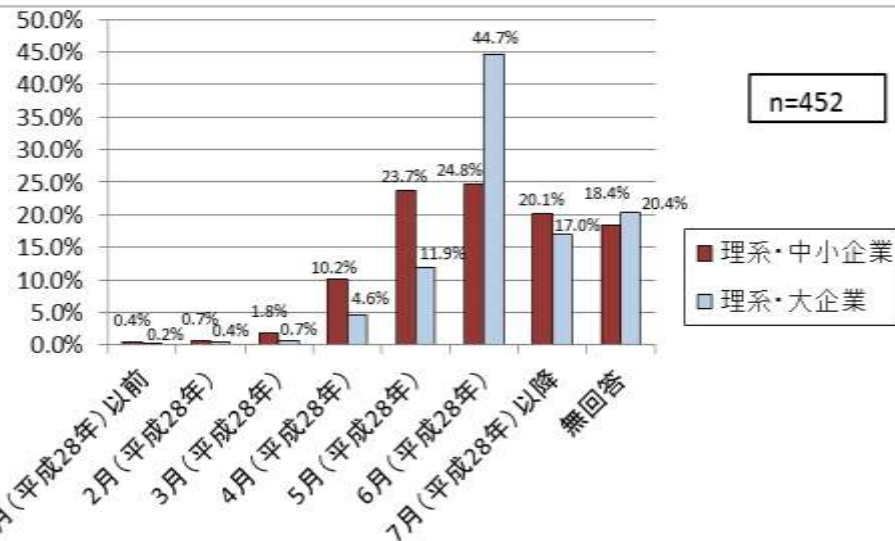
【大企業】

・「平成28年6月」(44.7%)が最も多く、続いて「平成28年7月以降」(17.0%)、「平成28年5月」(11.9%)であった。

【中小企業】

・「平成28年6月」(24.8%)が最も多く、続いて「平成28年5月」(23.7%)、「平成28年7月以降」(20.1%)であった。

多くの学生が最初に内々定を得た時期(理系・大/中小企業)



※理系の学部を設置していると回答した452校について集計。

学生が就職活動を終えた時期

文系の学生の就職活動の動向

【大企業】

・「継続中」(47.4%)が最も多く、続いて「平成28年7月」(27.7%)、「平成28年6月」(16.4%)であった。

【中小企業】

・「継続中」(75.4%)が最も多く、続いて「平成28年7月」(11.8%)、「平成28年6月」(5.7%)であった。

理系の学生の就職活動の動向

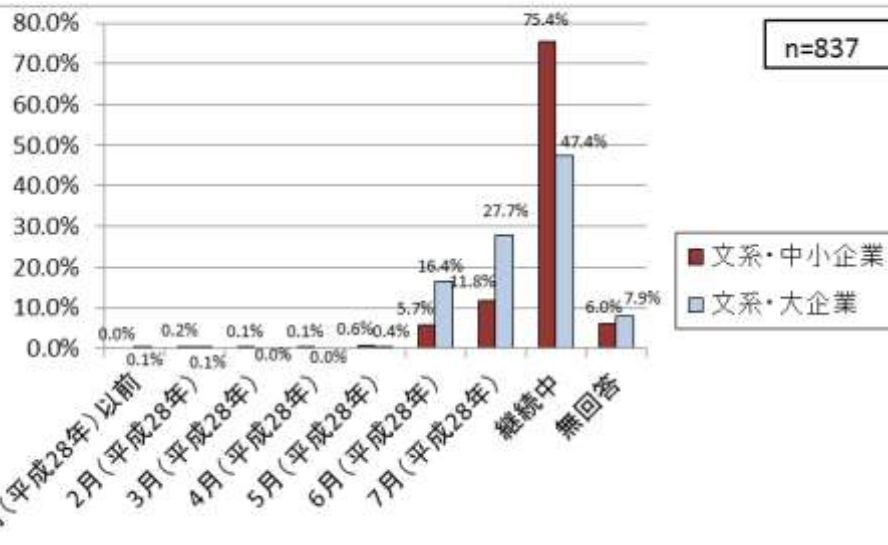
【大企業】

・「継続中」(36.1%)が最も多く、続いて「平成28年6月」(22.6%)、「平成28年7月」(19.7%)であった。

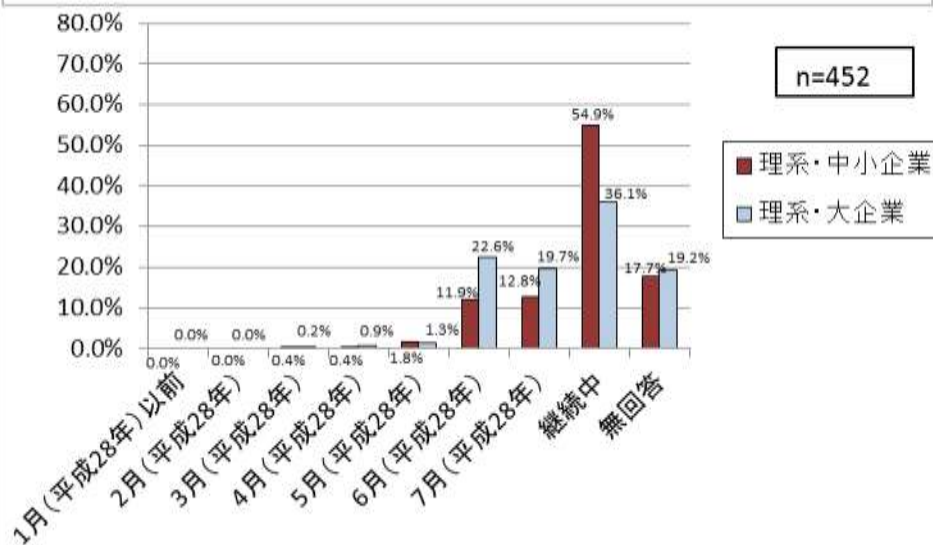
【中小企業】

・「継続中」(54.9%)が最も多く、続いて「平成28年7月」(12.8%)、「平成28年6月」(11.9%)であった。

多くの学生が就職活動を終了した時期は概ねいつ頃ですか(文系・大/中小企業)



多くの学生が就職活動を終了した時期は概ねいつ頃でしたか(理系・大/中小企業)



※文系の学部を設置していると回答した837校について集計。

※理系の学部を設置していると回答した452校について集計。

就職・採用活動開始時期の後ろ倒しの影響

平成27年度、平成28年度と就職・採用活動開始時期が後ろ倒しされていることの影響

【良い影響があった】

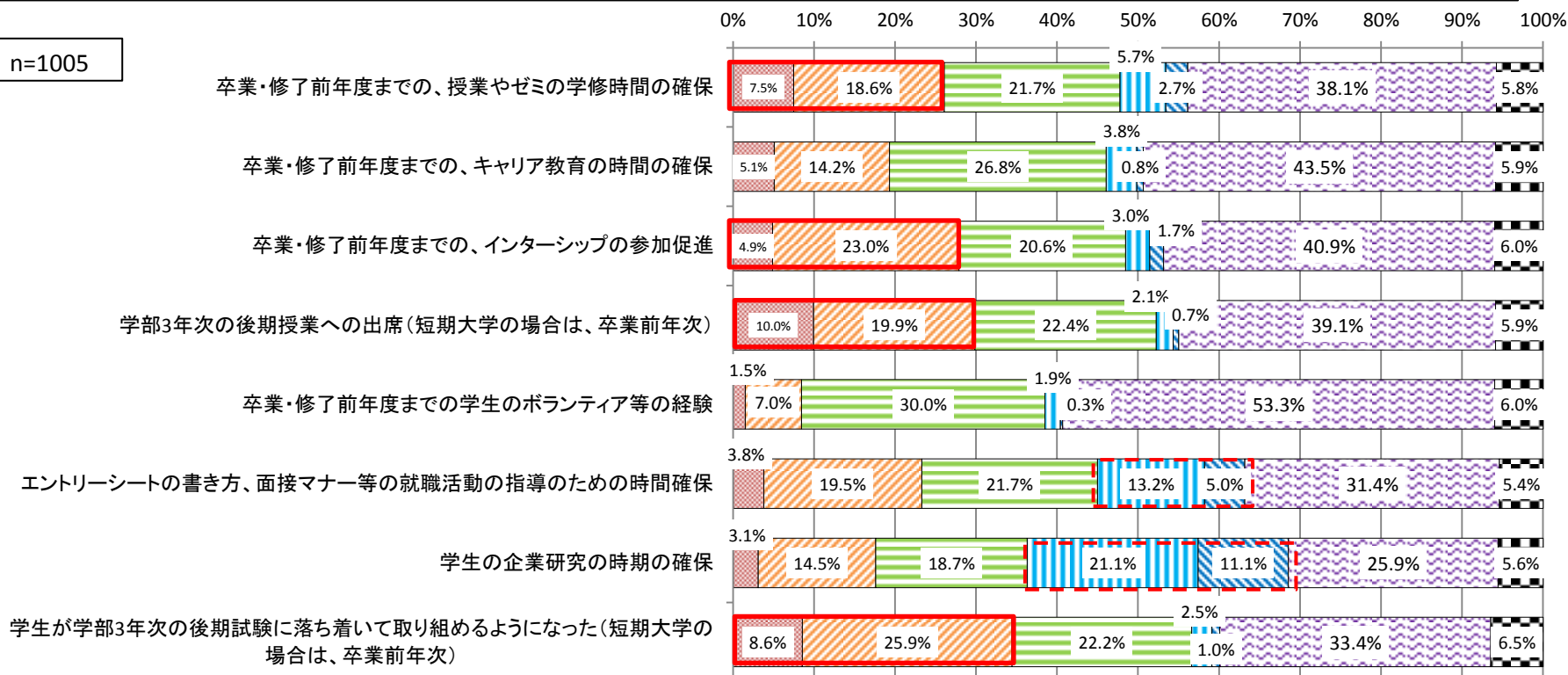
- ① 学生が学部3年次の後期試験に落ち着いて取り組めるようになった。(34.5%)
- ② 学部3年次の後期授業への出席(29.9%)
- ③ 卒業・修了前年度までの、インターンシップの参加促進(27.9%)
- ④ 卒業・修了前年度までの、授業やゼミの学修時間の確保(26.1%)

【悪い影響があった】

- ① 学生の企業研究の時間の確保(32.2%)
- ② エントリーシートの書き方、面接マナー等の就職活動の指導のための時間確保(18.2%)

広報活動開始時期が3月1日以降となり、就職・採用活動の開始時期が全体として後ろ倒しがされたことについて、どのような影響がありましたか

n=1005



■ 良い影響があった ■ どちらかというが良い影響があった ■ 同じくらい ■ どちらかというが悪い影響があった ■ 悪い影響があった ■ 影響はなかった ■ 無回答

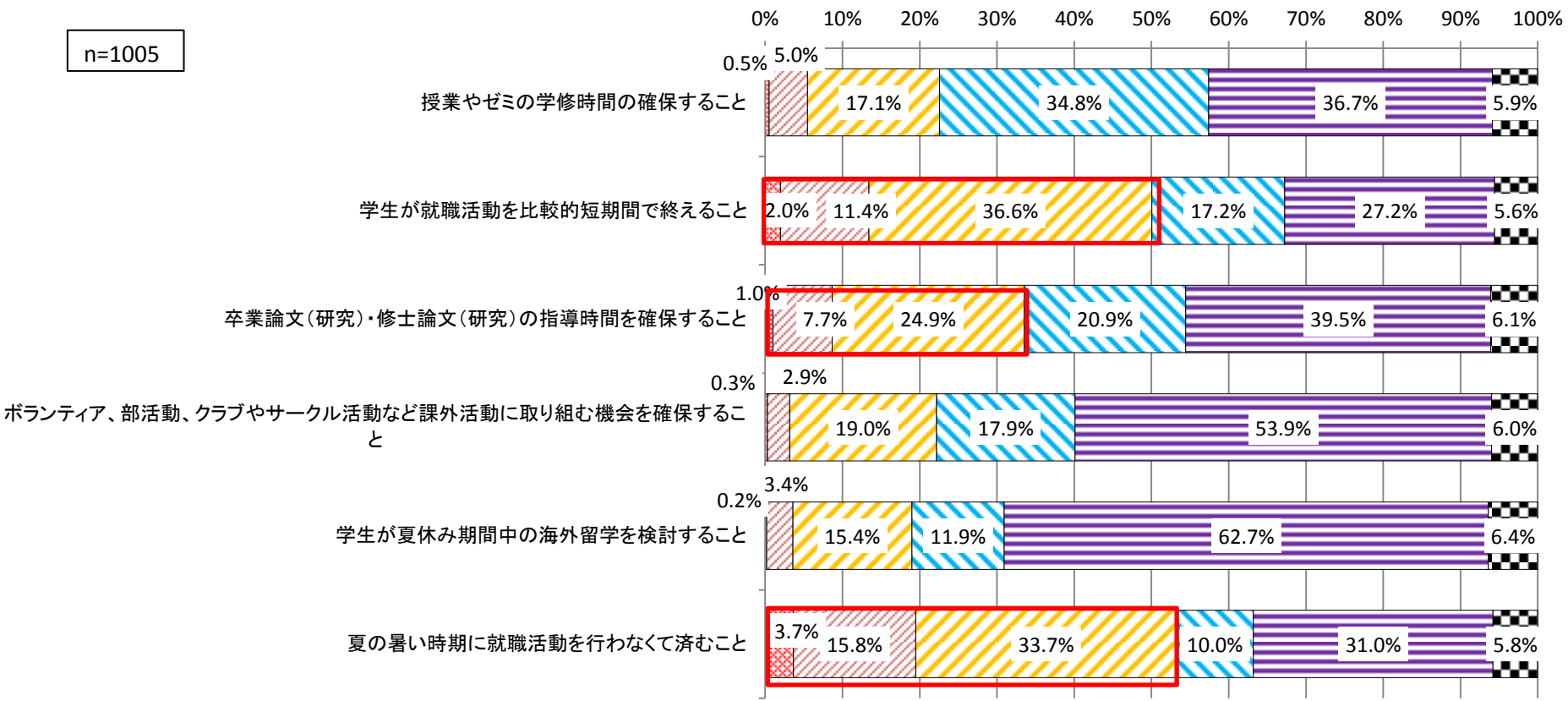
採用選考活動開始時期変更の影響（良い影響があったと思うこと）

採用選考活動開始時期が8月から6月に変更になったことによる良い影響

- ①夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済むこと（53.2%）
- ②学生が就職活動を比較的短期間で終えること（50.0%）
- ③卒業論文（研究）・修士論文（研究）の指導時間を確保すること（33.6%）

採用活動開始時期が8月から6月に変更になったことについて、良い影響があったと思うことはどのようなことですか

n=1005



非常に良い影響があった
 良い影響があった
 ある程度良い影響があった
 あまり良い影響はなかった
 全く影響はなかった
 無回答

採用選考活動開始時期変更の影響（課題となったこと）

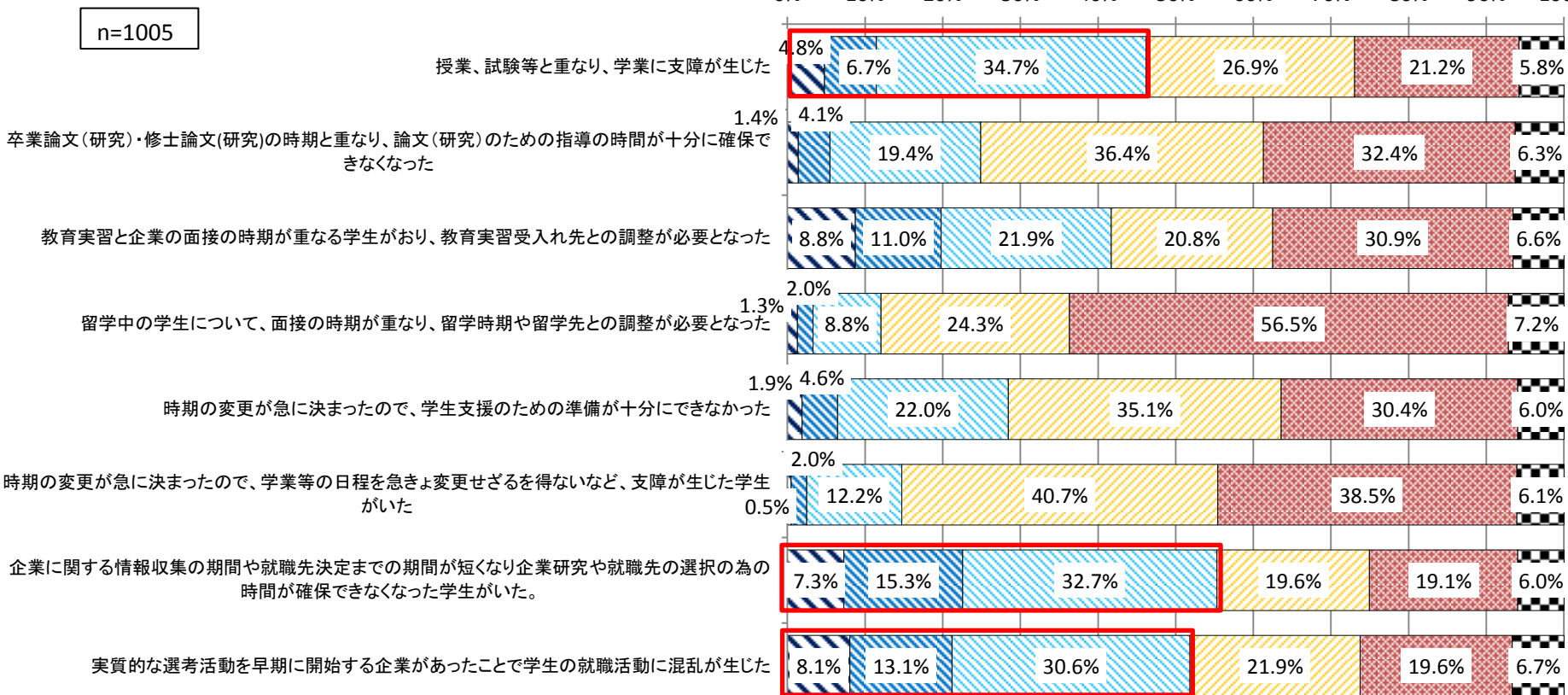
採用選考活動の開始時期が8月から6月に変更になったことによる課題

- ①企業に関する情報収集の期間や就職先決定までの期間が短くなり、企業研究や就職先の選択のための時間が確保できなくなった学生がいた（55.3%）
 - ②実質的な選考活動を早期に開始する企業があったことで学生の就職活動に混乱が生じた（51.8%）
 - ③授業、試験等と重なり、学業に支障が生じた（46.2%）
- なお、「教育実習と企業の面接の時期が重なる学生がおり、教育実習受け入れ先との調整が必要となった」についても41.7%と高い割合となった。

採用活動開始時期が8月から6月に変更になったことについて課題となったことは何ですか

n=1005

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 非常に大きな課題となった
 ■ 大きな課題となった
 ■ ある程度課題となった
 ■ あまり課題とならなかった
 ■ 全く課題とならなかった
 ■ 無回答

採用選考活動開始時期変更の影響（留学・教育実習）

【採用選考活動開始時期が8月から6月になったことによる留学経験者への影響】

- ①もともと就職・採用活動時期と重複しない時期に留学をした（又は今後留学する）学生が多く、全体としては影響がなかった（24.2%）
- ②留学の取りやめ又は、期間短縮をすることなく、当初の予定どおり留学を優先した学生が一定数いた（14.4%）
- ③既に留学していた又は留学する予定があったが、就職・採用活動の時期と重複したため、留学期間を短くした学生が一定数いた（5.2%）

※「もともと留学する学生がいない（少ない）ためわからない」が68.0%と最も多い。

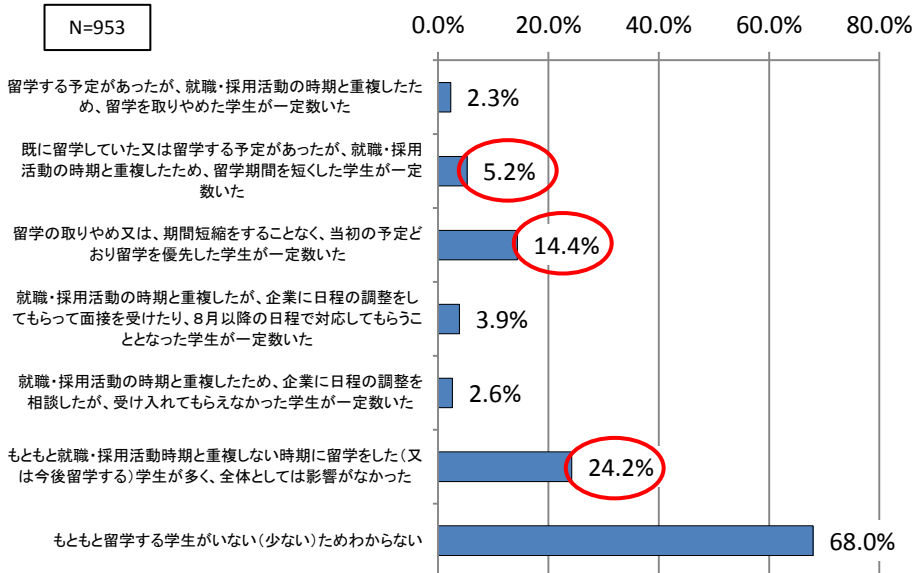
【採用選考活動開始時期が8月から6月になったことによる教育実習受講者への影響】

- ①取り止めや延期をせずに、当初予定どおり教育実習を受講した学生が一定数いた（40.7%）
- ②教育実習と面接の日程が重なったため、採用面接を受けられなかった学生が一定数いた（26.3%）
- ③企業に面接の日程を調整してもらって面接を受けることができた学生が一定数いた（21.8%）

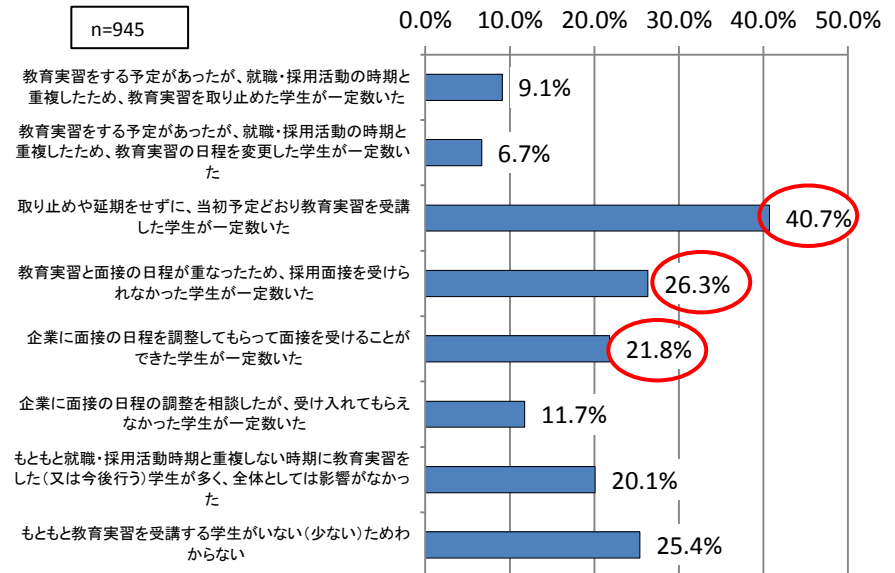
※「もともと教育実習を受講する学生がいない（少ない）ためわからない」は25.4%

採用選考活動が8月から6月に変更されたことにより、本年度卒業・修了予定者である学生の留学にどのような影響がありましたか

採用選考活動が8月から6月に変更されたことにより、本年度卒業・修了予定者である学生の教育実習にどのような影響がありましたか



※大学全体の状況として、「当てはまるもの」を最大3つ選択
※1,005校から無回答52校を除外



※大学全体の状況として、「当てはまるもの」を最大3つ選択
※1,005校から無回答60校を除外

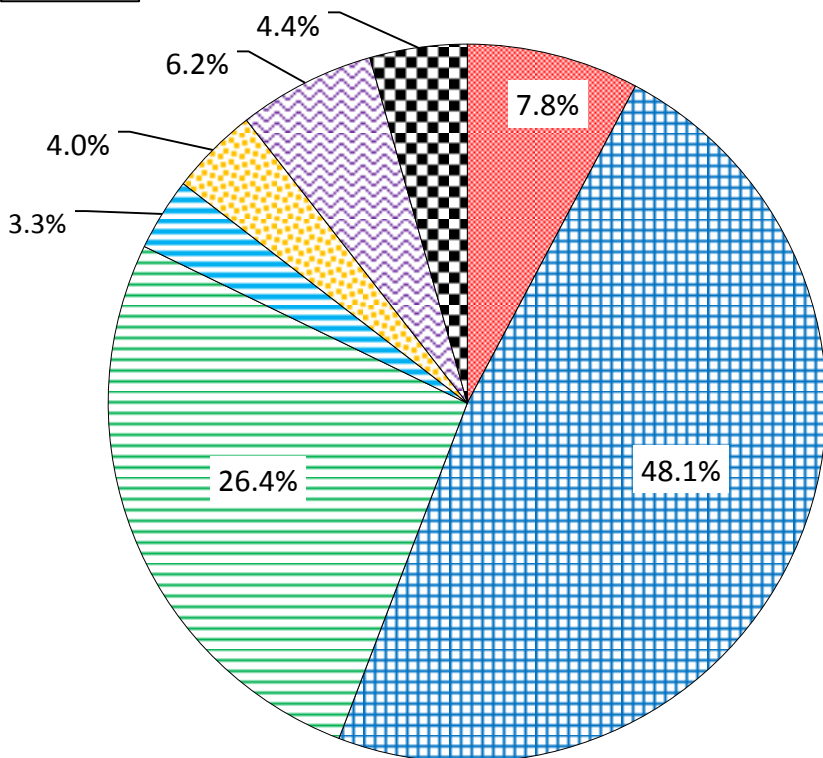
就職・採用活動時期の変更について、どのように考えるか

【各大学において、就職・採用活動開始時期を変更することをどのように考えているか】

- ①今よりも良い時期があれば変えるべきだが、変更には十分な検討を行い、適切な準備期間を設けるべき(48.1%)
- ②まずは現在の就職・採用活動時期について複数年にわたって状況を見て、十分検証すべきである(26.4%)、
- ③今よりも良い時期があれば、来年度からでも変えるべき(7.8%)

就職・採用活動開始時期を変更することについてどのように考えていますか

n=1005



- 今よりも良い時期があれば、来年度からでも変えるべき
- 今よりも良い時期があれば変えるべきだが、変更には十分な検討を行い、適切な準備期間を設けるべき
- まずは現在の就職・採用活動時期について複数年にわたって状況を見て、十分検証すべきである
- 時期の変更そのものによる混乱が懸念されるので、変更すべきではない
- 現状の就職活動時期が良いので変えるべきでない
- その他
- 無回答

就職・採用活動における学生に対する企業の配慮

【配慮していると回答した割合が、配慮していないとの回答より多かった項目】

・個別の面接日時等の設定に当たり、余裕をもって連絡が行われていた。 配慮している(46.2%) 配慮していない(23.9%) など

【配慮していると回答した割合が、配慮していないとの回答より少なかった項目】

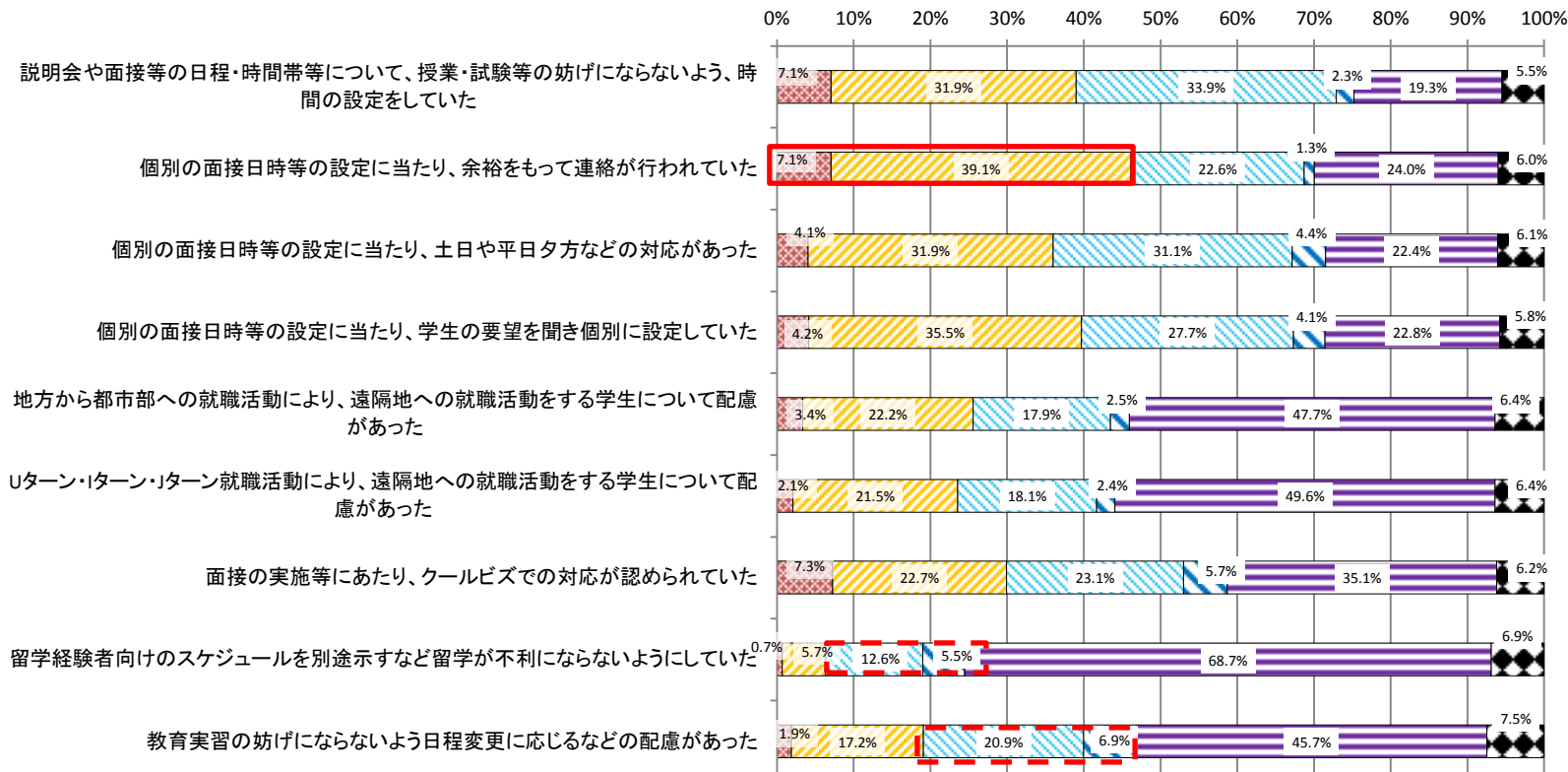
・留学経験者向けのスケジュールを別途示すなど留学が不利にならないようにしていた。「配慮している」(6.4%) 「配慮していない」(18.1%)
 ・教育実習の妨げにならないよう日程変更に応じるなどの配慮があった。「配慮している」(19.1%) 「配慮していない」(27.8%)

【概ね同程度であった項目】

・説明会や面接等の日程・時間帯等について授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定をしていた。「配慮している」(39.0%) 「配慮していない」(36.2%)
 ・個別の面接日時等の設定に当たり土日や平日夕方などの対応があった。「配慮している」(36.0%) 「配慮していない」(35.5%) など

※「配慮している」とは、「多くの企業で配慮していた」「ある程度の企業で配慮していた」という回答の合計、「配慮していない」とは、「配慮している企業はなかった」「配慮している企業は少なかった」という回答の合計

本年度の就職・採用活動について、企業側は学生に配慮をしていましたか



多くの企業で配慮していた
 ある程度の企業で配慮していた
 配慮している企業は少なかった
 配慮している企業はなかった
 わからない
 無回答

学生からの相談状況(学業と面接等との重複)

<授業、ゼミ、実験など>

- ・授業、ゼミ、実験などの時間と面接等の日程等が重なったため、企業に配慮してほしい旨の相談を受けた大学は43.7%
- ・相談件数は、「5件以下」(40.8%)が最も多く、続いて「6～10件以下」(26.4%)、「11～20件以下」(18.7%)

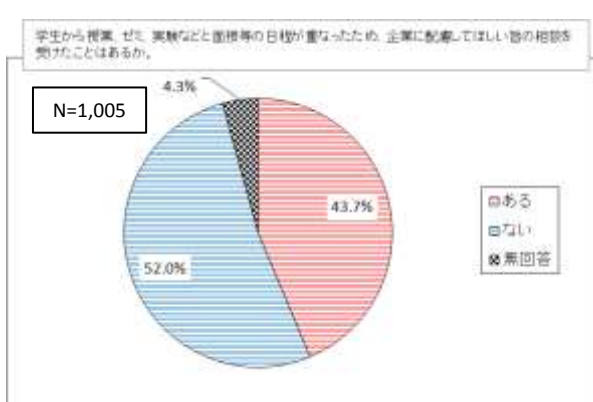
<留学>

- ・学生から留学時期と就職活動時期が重なってしまったため、面接等を別日程にしてほしい旨の相談を受けた大学は4.8%
- ・相談件数は、「5件以下」(75.0%)、「6～10件以下」(10.4%)、「11～20件以下」「31～40件以下」(ともに6.3%)

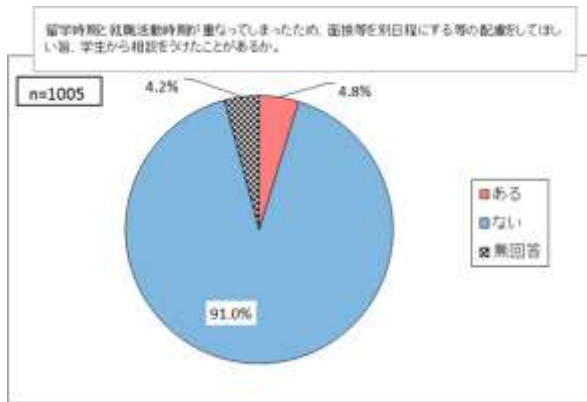
<教育実習>

- ・学生から教育実習の時期と就職活動時期が重なってしまったため、面接等を別日程にしてほしい旨の相談を受けた大学は33.8%
- ・相談件数は、「5件以下」71.5%、「6～10件以下」(15.6%)、「11～20件以下」(7.1%)

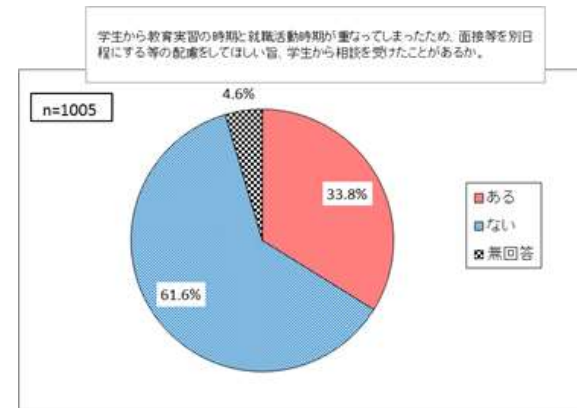
<授業、ゼミ、実験など>



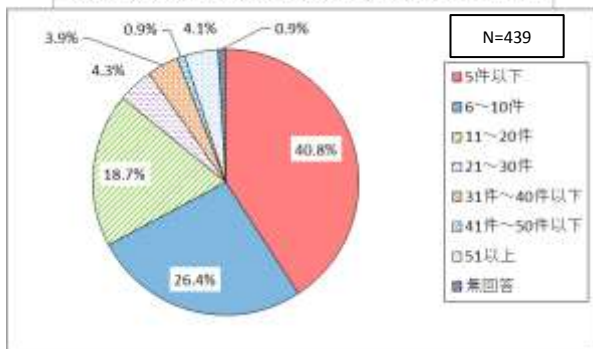
<留学>



<教育実習>

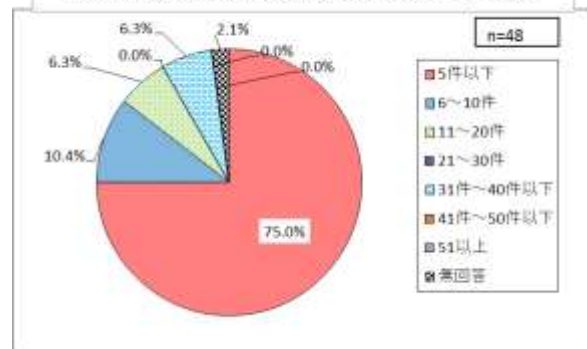


学生からの相談件数(授業、ゼミ、実験との面接が重なった時)



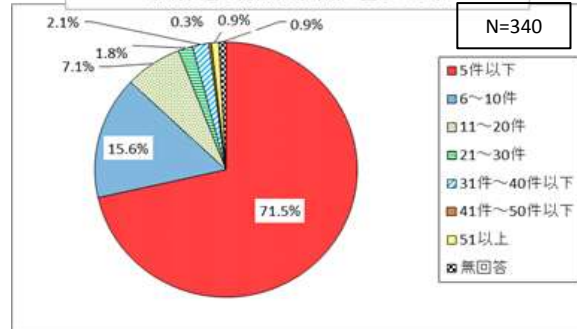
※相談を受けたことがあると回答した439校に質問

学生からの相談件数(留学時期と就職活動時期が重なった時)



※相談を受けたことがあると回答した48校に質問

学生からの相談件数(教育実習と就職活動時期が重なった時)



※相談を受けたことがあると回答した340校に質問

企業の対応(授業、ゼミ、実験と面接が重なった時)

【大学から直接相談した場合の企業の対応】

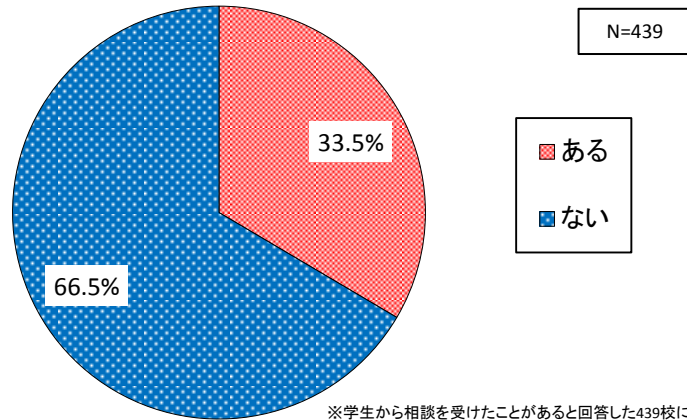
学生の相談を受け、33.5%が大学から企業に相談をしており、結果、「ほぼすべての企業で配慮してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」と回答した大学の合計は76.2%

【配慮できなかった企業の理由】

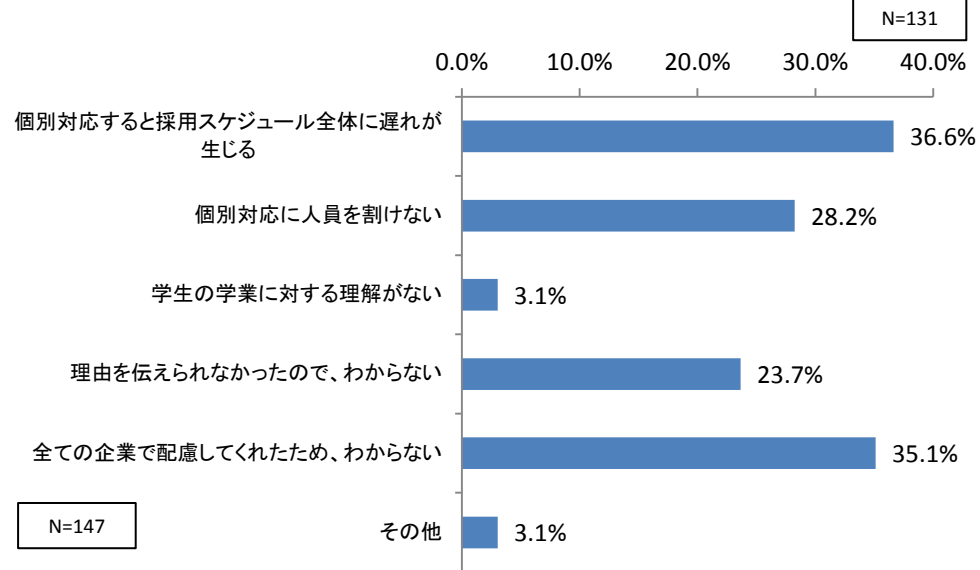
「個別対応すると採用スケジュール全体に遅れが生じる」(36.6%)

「個別対応に人員を割けない」(28.2%)

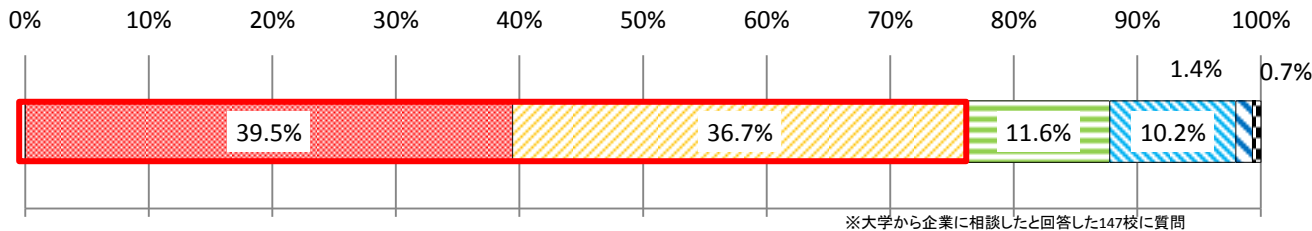
学生からの相談を受け、大学から企業に相談したことはありますか
(授業ゼミ、実験との面接が重なった時)



企業が配慮してくれなかった理由は何ですか
(授業、ゼミ、実験との面接が重なった時)



大学から企業に相談した結果、企業は配慮してくれましたか
(授業、ゼミ、実験との面接が重なった時)



※対象: 大学から企業に相談したと回答した147校に質問。
無回答16校を除外

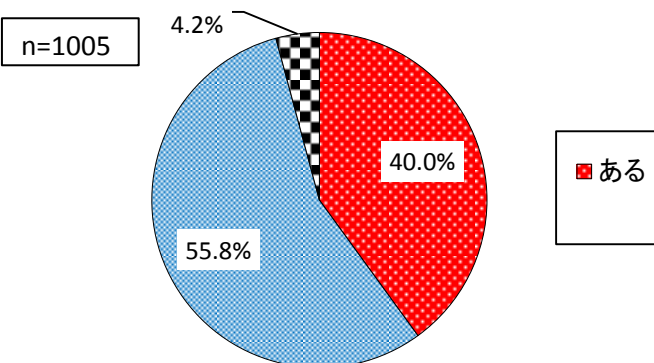
■ ほぼ全ての企業で配慮してくれた
 ■ 対応してくれた企業のほうが多い
 ■ 半々程度
■ 対応してくれなかった企業のほうが多い
 ■ ほぼ全ての企業が配慮してくれなかった
 ■ 無回答

就職・採用活動におけるハラスメント的な行為

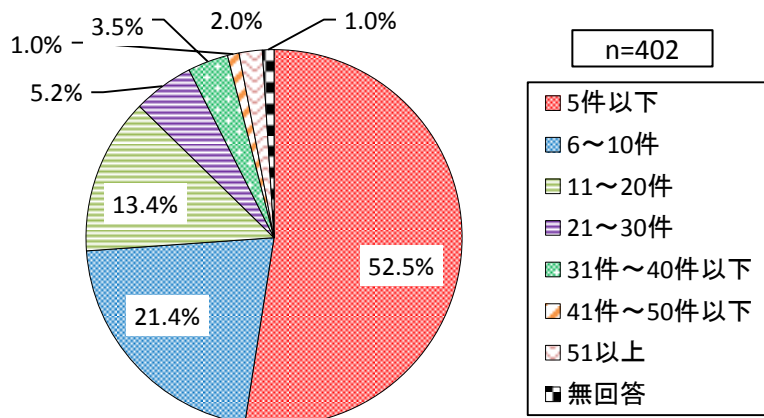
【大学に対する相談の有無と件数】

- ・学生から就職活動におけるハラスメント的な行為について相談を受けた割合は40.0%であった。
- ・相談件数は5件以下が52.5%と最も多く、続いて「6～10件以下」(21.4%)、「11～20件以下」(13.4%)であった。

企業から学生の意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為について、相談を受けたことはありましたか。



ハラスメント的な行為に関する相談件数はおおよそ何件程度でしたか。
(平成28年3月1日から8月1日まで)

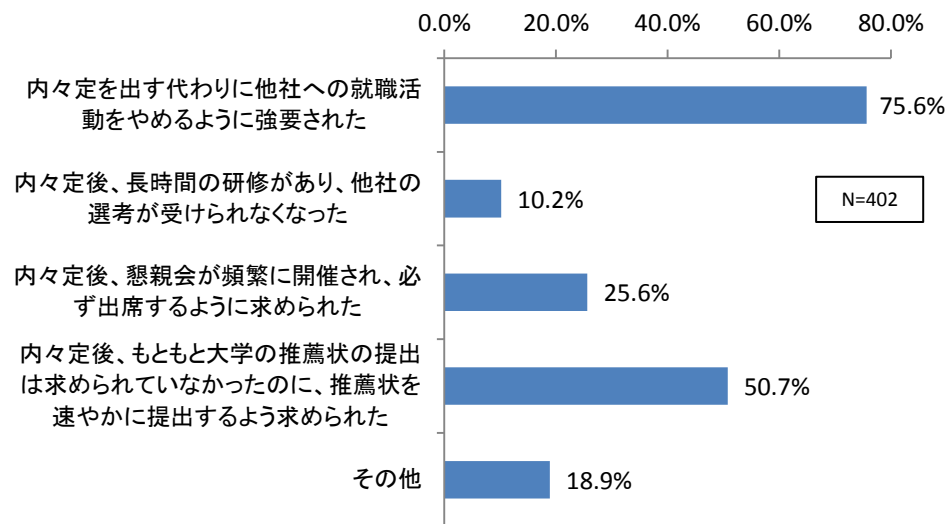


※学生から相談を受けたことがあると回答した402校に質問

【ハラスメント的な行為の内容】

- ① 内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された (75.6%)
- ② 内々定後、もともと大学の推薦状の提出は求められていなかったのに、推薦状を速やかに提出するよう求められた (50.7%)
- ③ 内々定後、懇談会が頻繁に開催され、必ず出席するように求められた。(25.6%)

どのようなハラスメント的行為について相談を受けましたか



※「当てはまるもの」全て選択
※学生から相談を受けたことがあると回答した402校に質問

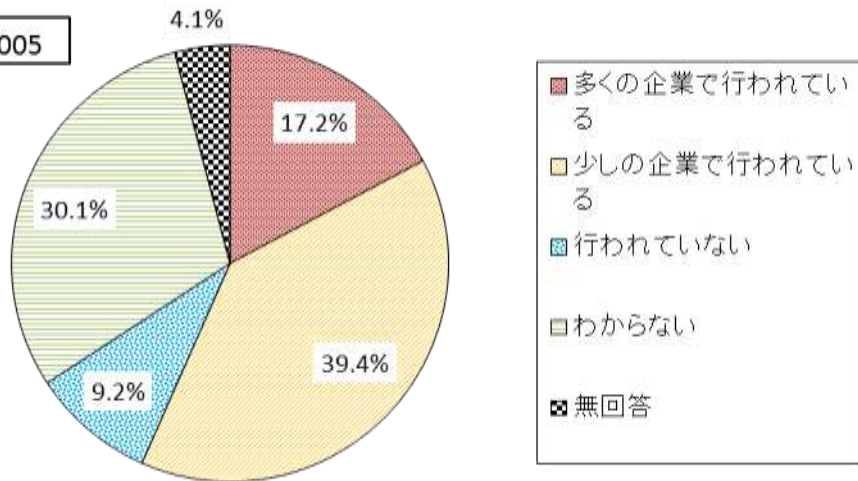
採用選考活動における学生評価

【成績を活用した面接の実施状況】

「多くの企業で行われている」「少しの企業で行われている」と回答した大学の合計は56.6%であった。

成績表などを活用した面接が行われていると思いますか。

n=1005

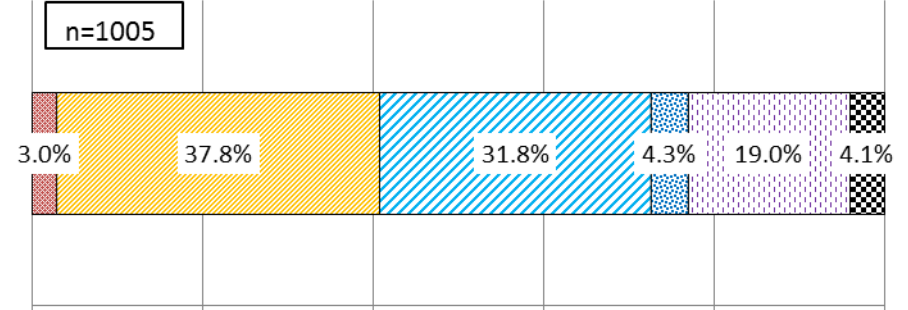


【企業の採用選考活動において、学生を評価する際に、成績成果(成績や履修履歴等)が重視されているか】

「多くの企業で重視されている」「ある程度重視されている」と回答した大学の合計は40.8%であり、「重視されていない」「あまり重視されていない」と回答した大学の合計は36.1%であった。

企業の採用選考活動は、大学の成績成果が重視されていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 多くの企業で重視されている
 ■ ある程度重視されている
■ あまり重視されていない
 ■ 重視されていない
■ わからない
 ■ 無回答